

# Road to 2050

北越グループの挑戦

ZERO  
CO<sub>2</sub>  
2050™

ZERO  
CO<sub>2</sub>  
2050™

# Road to 2050

## Challenge 先進的CCS事業

CCSは、工場などから排出された二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を分離・回収(Capture)し、地中深くに貯留(Storage)する技術です。北越コーポレーションが参画する東新潟地域のCCS事業案は、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が公募した令和5年度「先進的CCS事業の実施に係る調査」に関する委託調査業務に採択されました。当社は、新潟工場にて2030年のCCS稼働に向けて検討を始めます。今回のJOGMECに選定された案件の中で紙パルプメーカーは、当社のみです。

### 先進的CCS事業化の取り組み

JOGMECは、CO<sub>2</sub>を回収して地下に貯留する技術「CCS」について、国内初となる事業化を支援する対象として7案件を選定しました。当社は「東新潟地域CCS」として、石油資源開発(株) 東北電力(株) 三菱ガス化学(株) (株)野村総合研究所とともに脱炭素燃料や環境価値などの付加価値創出を目的とした事業の推進に取り組みます。

〔JOGMEC 2023年6月13日ニュースリリース 国内初のCCS事業化の取り組み〕より



1992 リオ地球サミット

1995 天然ガス発電開始(市川)

1996 高温高压回収ボイラ新設(新潟7RB)

1997 京都議定書

1999 天然ガス発電開始(新潟)

2005 国内最大級の高温高压回収ボイラ新設(新潟8RB)

2006 国内最大級の木質バイオマスボイラ新設(勝田)

2006 全量天然ガス化(長岡)

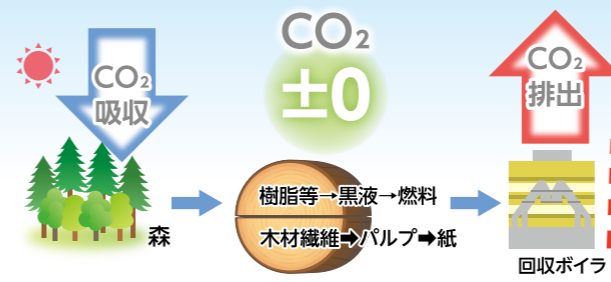
2007 木質バイオマスボイラ新設(新潟)

2008 木質バイオマスボイラ新設(紀州)

### 北越コーポレーション 新潟工場の挑戦

当社は、新潟工場の回収ボイラから排出されるカーボンニュートラルなCO<sub>2</sub>を分離・回収し、貯留することを2030年の事業開始に向けて検討します。カーボンニュートラルなCO<sub>2</sub>を分離回収することは、大気中のCO<sub>2</sub>を削減し気候変動防止に貢献します。(ネガティブエミッション)

バイオマス燃料(黒液)は、カーボンニュートラル

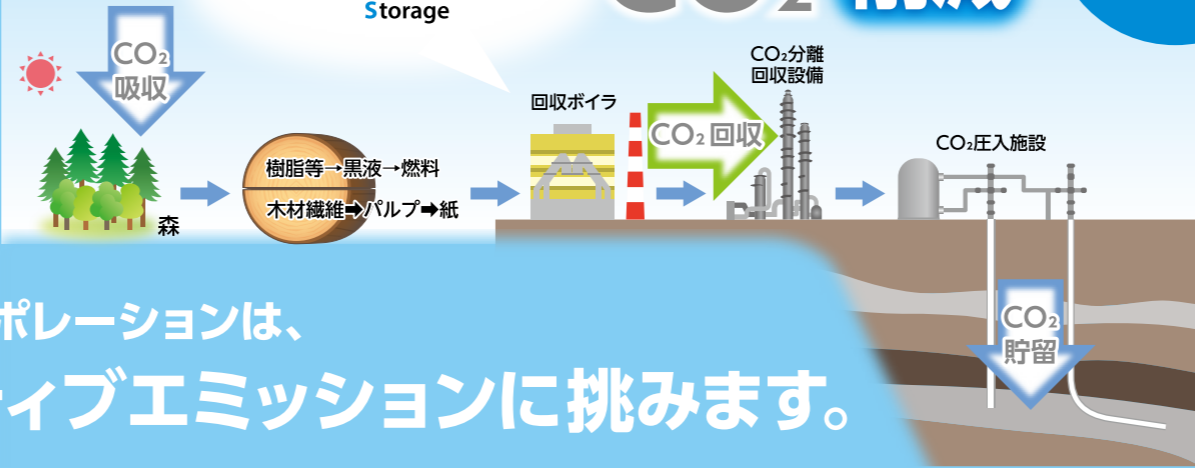


現在

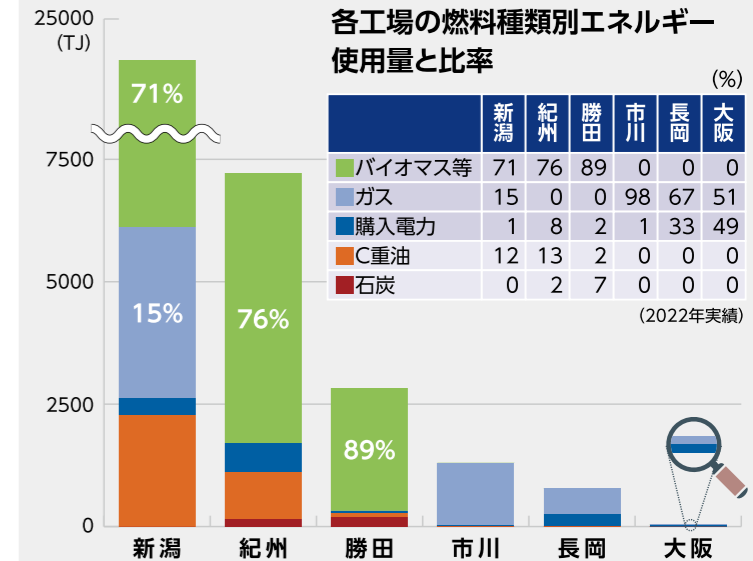
CO<sub>2</sub>削減

2030年

CCS = Carbon dioxide Capture and Storage



北越コーポレーションは、  
ネガティブエミッションに挑みます。



■ 新潟・紀州・勝田はバイオマス燃料を主体とした工場です。いずれもCO<sub>2</sub>ゼロ・エネルギー比率70%以上です。勝田は2030年より前にCO<sub>2</sub>ゼロ工場を目指します。

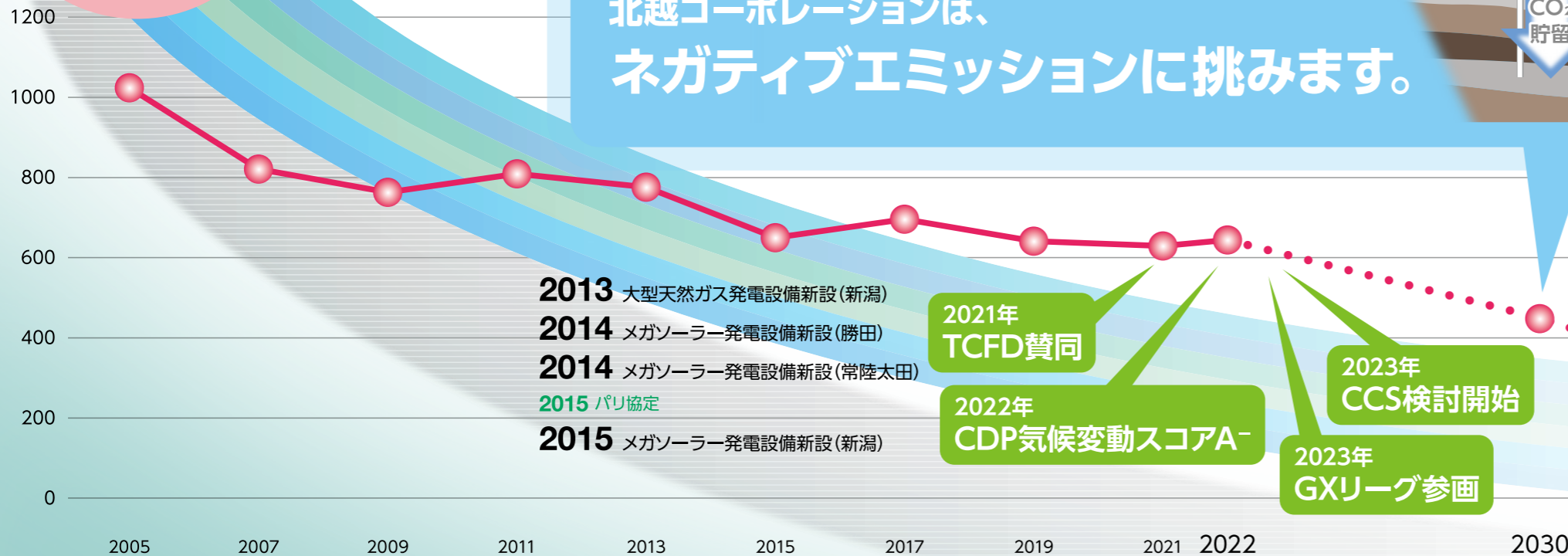
■ 市川・長岡・大阪のエネルギー源は天然ガスと都市ガスです。長岡は地元の長岡市で産出する天然ガスを使用しています。

まだまだ取り組みは続いています!

- パルプ製造工程での重油代替技術と設備
  - 自家発電力の工場間託送
  - バイオマスボイラの新設や増強
  - ガス燃料の代替の必要性の検討
- その他、省エネや工程改善にも引き続き取り組んでいきます

北越コーポレーションの  
CO<sub>2</sub>排出量(単体)

● CO<sub>2</sub>排出量(千t)



2013 大型天然ガス発電設備新設(新潟)

2014 メガソーラー発電設備新設(勝田)

2014 メガソーラー発電設備新設(常陸太田)

2015 パリ協定

2015 メガソーラー発電設備新設(新潟)

2021年  
TCFD賛同

2022年  
CDP気候変動スコアA-

2023年  
CCS検討開始

2023年  
GXリーグ参画

ZERO CO<sub>2</sub>

2050年  
CO<sub>2</sub>排出量  
実質ゼロに挑戦

2050



## 北越コーポレーション株式会社

〒103-0021

東京都中央区日本橋本石町三丁目2番2号

TEL 03-3245-4500

FAX 03-3245-4511

[www.hokuetsucorp.com](http://www.hokuetsucorp.com)